

環境部会

親子であつまれ
自然あそび塾

園5-環 田波 久紀夫

紅葉の時期も過ぎた昨年11月30日(土)は、やや肌寒い日であったが、広報こうべの募集に応募した16家族(低学年小学生27名、大人16名)43名の参加者があり、にぎやかなイベントになった。

ドングリの勉強を創作紙芝居で行った後、テントキャンプ場までの約1.5kmを樹木や野鳥の観察指導とクイズをピオトープの会の方々为主体となってい、昼食のキャンプ場では銀の匙会(食文化5期生)の方々が温かいキノコ汁を作って待っていた。到着した子供達が一人ずつ、事前に用意した具のキノコを鍋に入れて、キノコ汁の出来上り。

また、観察の途中で採取したササでササ茶を作り、キャンプファイヤーを囲んで美味しく楽しい昼食であった。特にキノコ汁とササ茶は大好評で、アツという間に無くなった。

キャンプファイヤーでは焼イモも作ったが子供達は大喜びで、歓声をあげていた。

食後はドングリで動物やコマを作り、ドングリの歌を歌った。午後はピオトープの所まで戻り、ピオトープの会の方々に準備していただいた、根の出たドングリを全員がピオトープの周りに植え、屋外での行事

解説を聞くと見慣れた道も発見がいっぱいだ



親子であつまれ
ケフナ紙すき塾

生6-環 佐藤 昭三

ケフナ紙すきの塾を開催し、12組24名の親子が集まった。当日は午前中まず我々が子供さん向けに創作した「ケフナとはどんな植物か、どんな働きをするのか、どのように利用できるのか等」がわかる紙芝居を行い、ケフナを親子で知って貰ってから、ケフナ紙すき(1人当り

2、3枚の葉書作り)を行った。

午後は作ったケフナ葉書に好きな絵を書いて貰い、最後に作品や感想を自由に発表してもらった。親子の皆さんから「きょうはケフナの勉強もでき、親子での紙すきは大変よかった」と好評を得た。また本塾は我々シルバーエイジと、親子さんとの3世代のふれ合い場ができ、我々にとっても有意義な1日であり、楽しかった。来年も続けたいと考えている。



は無事終了した。

一日を振り返って、子供達の感想の主なものは

何か新しい事がわかりましたか?

しあわせの村にはこんなに多くの種類の樹木が植えてあるとは知ら

なかった。

ドングリのできる樹木がこんなにたくさんあることを知りました。

楽しかったことがありましたか?

ドングリを植えたこと、芽が出るのを楽しみに、またここに来ようと思った。

キノコ汁、焼いも、ササ茶がトモモ美味しかった。

などであった。

開催までの準備は大変だったが、多くの方々の協力を得て、初の試みのイベントが成功したことは本当に良かった。これから計画する行事の励みにもなりスタッフ一同喜んでい。ただ、当日のスタッフ人数が少し多すぎたのは今後の反省点であった。それはさておき、ご協力頂いた環境部会やその他の皆さん本当にありがとうございました。これからもこのようなイベントを定期的に行いますので、その節はよろしくお願い致します。